

報道関係各位

2011 年 10 月 20 日
シーシーエス株式会社

連結子会社のフェアリープラントテクノロジーと果実堂が 業務提携により福井工場でベビーリーフ生産を本格化へ

～栽培受託を本格スタートし、フェアリープラントテクノロジーの収益改善へ～

LED を活用した検査用照明メーカーでトップシェアを占めるシーシーエス株式会社(本社:京都市上京区/代表執行役社長 米田賢治、以下シーシーエス)と、ベビーリーフの栽培・販売最大手である株式会社果実堂(本社:熊本県阿蘇郡/代表取締役社長 井出剛、以下:果実堂)は、シーシーエスの連結子会社である株式会社フェアリープラントテクノロジー(本社:京都市上京区/取締役社長 松室伸二、以下:FPT)の福井工場の施設を用いてベビーリーフの水耕栽培を受託生産することで合意し、本日より本格出荷を開始いたしましたので、お知らせ致します。

■業務提携の理由及び内容

近年、安心・安全な食物への関心はますます高まっており、通常の露地栽培のように季節や天候に左右されることなく、無農薬で安心・安全な野菜の安定的な生産・供給が可能な閉鎖型植物工場への期待は高まりをみせております。

FPT では、2005 年の設立以来、LED を活用した実験栽培設備により、さまざまな野菜をより安全に、より効率的に栽培する研究を重ねてきました。さらに、2008 年 8 月以降は世界最大級の閉鎖型植物工場である福井工場において、野菜栽培の量産ノウハウを蓄積してまいりました。

一方、果実堂は、ベビーリーフの有機栽培及び販売を主力とした事業展開を行っており、さらにフードサイエンス研究所を設け「食育ミネラル測定」、「機能性ドレッシングの開発、販売」を行っています。有機栽培のベビーリーフでは国内最大級の生産規模を誇るアグリベンチャー企業です。

今回、FPT が長年にわたって蓄積してきた閉鎖型植物工場における野菜の量産技術と、果実堂のベビーリーフにおける栽培ノウハウと強力な販路を組み合わせることで、洗わずに食べれる「水耕栽培ベビーリーフ」の安定的かつ安心・安全な品質での供給を実現してまいります。

FPT は、本業務提携に基づき福井工場においてベビーリーフの受託栽培を本格的に開始し、本日より「水耕栽培ベビーリーフ」として本格出荷を開始致しました。栽培については、完全閉鎖型工場での水耕栽培という特色性を活かし、年間 24 毛作(土耕の場合は年間 8～10 毛作)、単位収量を土耕栽培の場合の約 10 倍という効率性を実現する計画です。また FPT では、本受託栽培により、福井工場の固定費を吸収し収益性の改善を図る一方で、工場による野菜栽培のモデルケースとして横展開を図ってまいります。

■ 果実堂「水耕栽培ベビーリーフ」



■ 株式会社果実堂について

本社所在地：〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子 657 番地 2

代表者：代表取締役社長 井出 剛

TEL：096(320)8883

FAX：096(320)8839

資本金：2 億 7,680 万円

事業内容：大規模有機栽培ベビーリーフの販売
機能性ドレッシングの開発、販売

本件に関するお問い合わせ先：株式会社果実堂 <http://www.kajitsudo.com>

新規事業部 畠山 又は 総務経理部 安藤

シーシーエスはこれまで工業用 LED 照明分野で培った技術とノウハウを駆使し、ライティングソリューションを強みに新規事業分野（民生商業用・メディカル用・アグリバイオ用）・植物育成プラント事業へ、幅広い分野へ展開しております。また、植物育成用 LED 照明をはじめ幅広くアプリケーション開発を展開していきます。

■本件に関するお問い合わせ■

シーシーエス株式会社 <http://www.ccs-inc.co.jp>

経理財務グループ広報IRセクション 梶原・中村

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル

TEL:075-415-8291(広報) FAX:075-415-7724 E-mail:koho@ccs-inc.co.jp